

前十字靱帯再建術を受けられた患者様

今後のリハビリについて

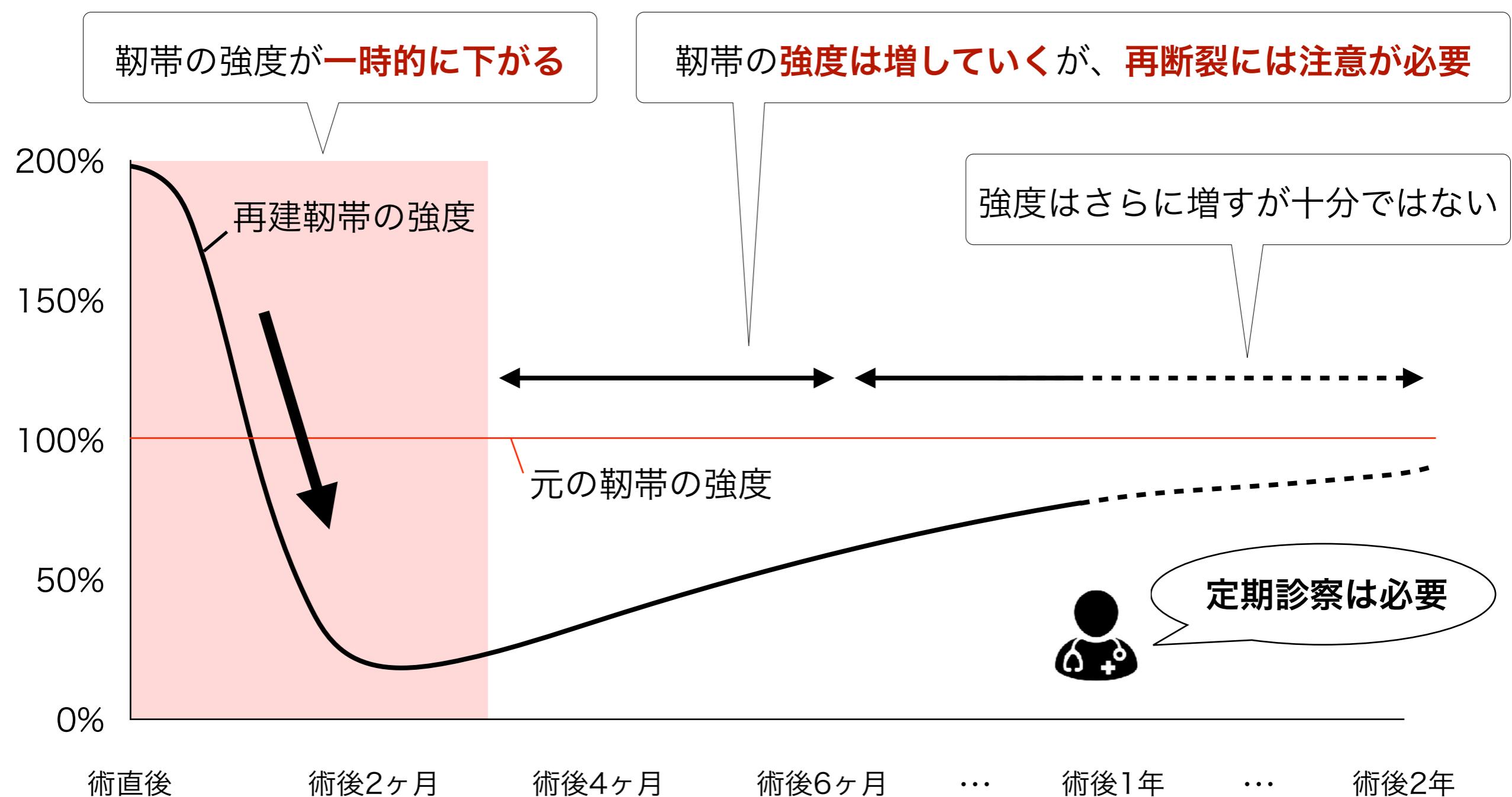


前十字靱帯再建術後のリハビリテーションプロトコル (BTB法)

	術後翌日	術後1週～	術後2週～	術後3週～	術後4週～	術後3ヶ月～	術後6ヶ月～
	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
可動域	伸展 屈曲	0°獲得 禁止	制限なし				
	荷重	非荷重	1/2荷重	全荷重			
	装具	着用	歩行時着用		除去		
	膝伸展可動域運動						
	Patella-mobi						
	腓腹筋ストレッチ						
	Quad setting						
	ヒールスライド						
	Leg curl						
エクササイズ	両脚ブリッジ						
	両脚スクワット						
	両脚カーフレイズ						
	片脚ブリッジ						
	片脚スクワット						
	片脚カーフレイズ						
	Knee extension						
	エアロバイク						
	Jog						
	スポーツ応用動作						
	競技復帰						



・再建靭帯の強度は手術したらすぐ元通りになる？



靭帯はすぐに強くなるわけではないため、
靭帯に負荷が加わらないようにトレーニングをすることが大切

靭帯はどんな時に負荷がかかる？

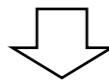


- 膝が内側に入っている
- 身体が左右に傾いている
- 重心が後ろに乗っている

靭帯に負荷がかからないために



- 膝とつま先が垂直線上にあるようにする
- 身体は傾かず、まっすぐにする
- 身体を軽度前傾位で保つ

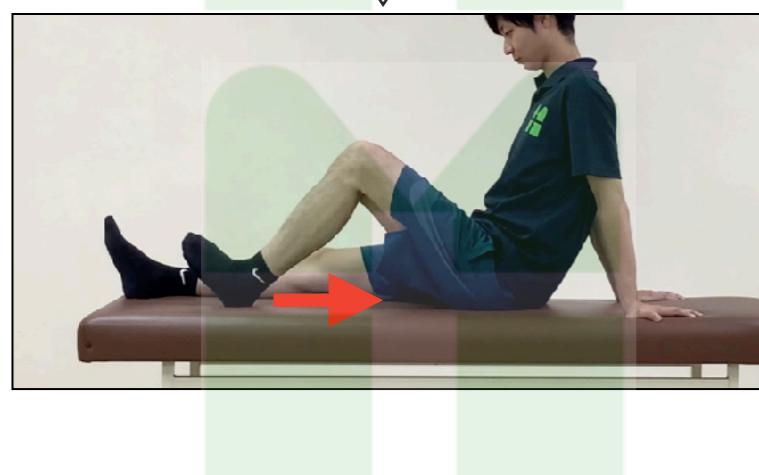
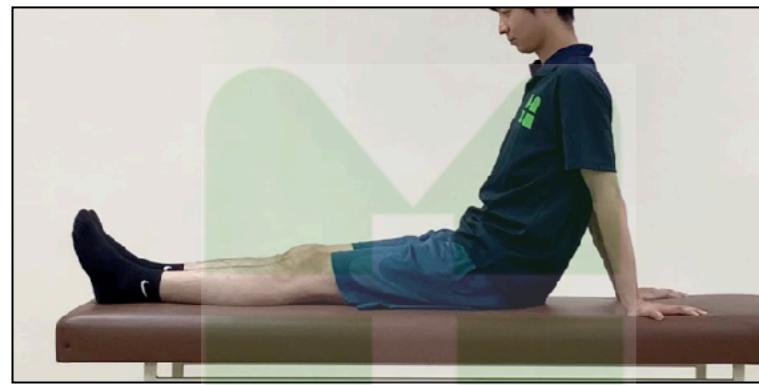


- ▶ その姿勢がとれる柔軟性と筋力を獲得
- ▶ 間違っている姿勢と動作を修正する

身体の柔軟性、股関節・体幹の筋力、正しい姿勢と動作の再学習が重要

・リハビリ（術後1週～）

・ヒールスライド



- ・やりかた
 - 装具を外し、なるべく力を抜いて膝を伸ばす
 - ゆっくり膝を曲げる
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

⚠注意点：つま先を外、膝を内側に入れない

・Leg curl



- ・やりかた
 - うつ伏せになって、膝を曲げる
 - 痛みがある場合は、足の下にタオルを入れる
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

⚠注意点：足首の力を抜く
体が回旋しないようにする。

・両脚カーフレイズ



- ・やりかた
 - 両脚に均等に荷重を乗せ、かかとをあげる
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

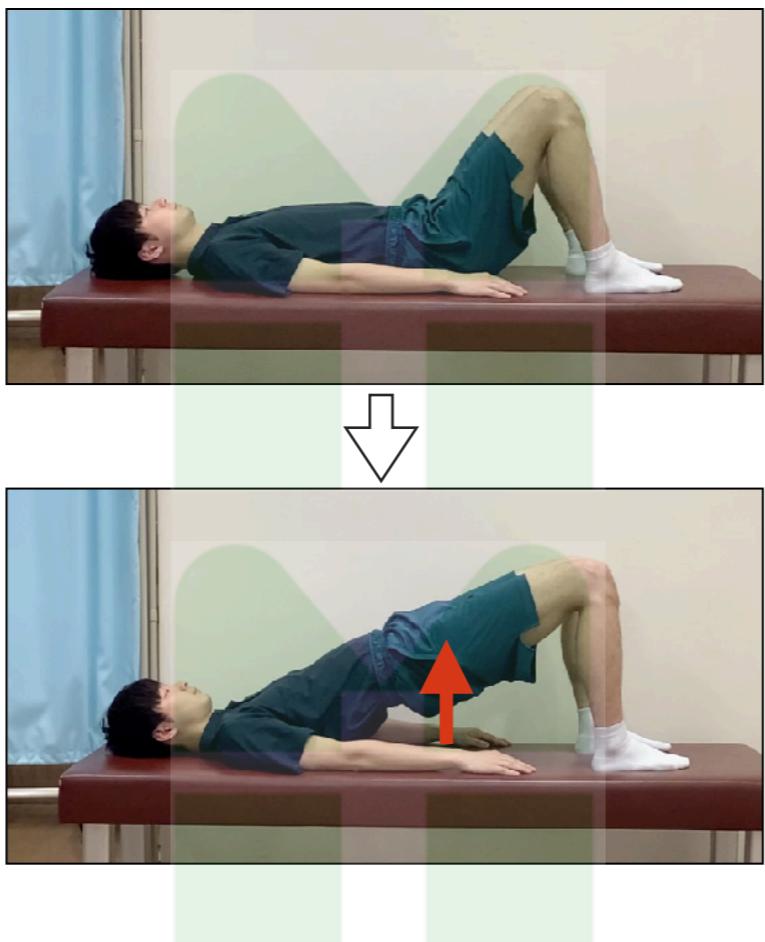
・リハビリ（術後2週～）

・片脚カーフレイズ



- ・やりかた
 - 片脚で立って、かかとをあげる
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

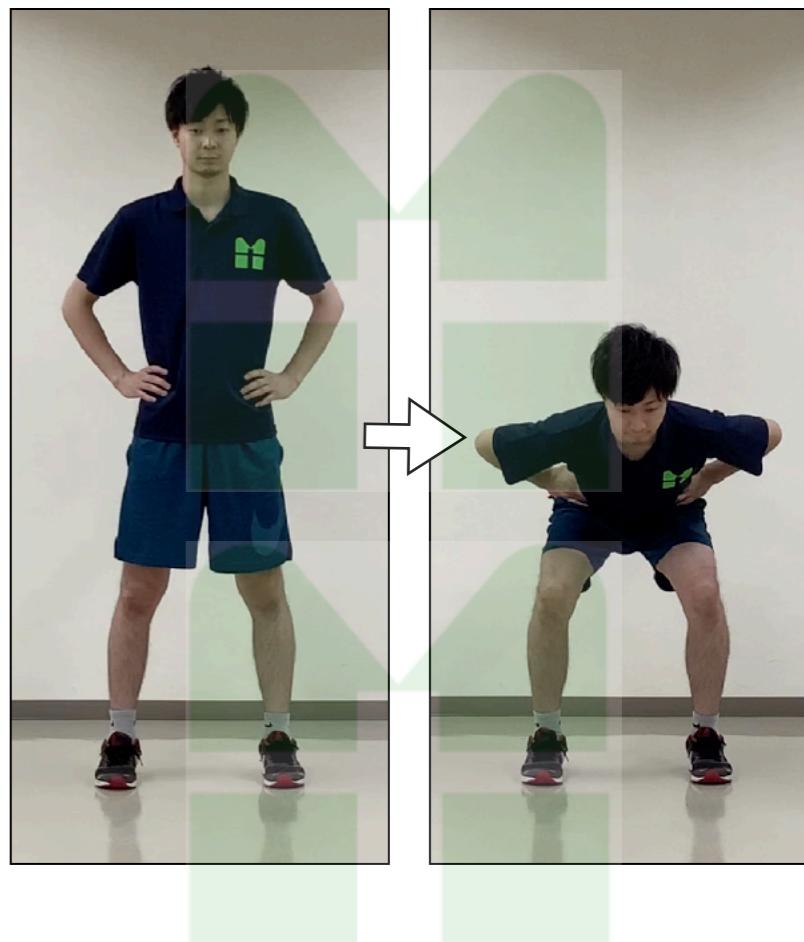
・両脚ブリッジ



- ・やりかた
 - 仰向けになって膝を立てる
 - お尻を上に持ち上げる
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

⚠注意点：膝を内側に入れない

・両脚スクワット



- ・やりかた
 - 足を肩幅に開き、お腹に力を入れて立つ
 - 上半身を軽く前傾し、膝を曲げて腰をおろす
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

⚠注意点：膝を内側に入れない



・リハビリ（術後3週～）

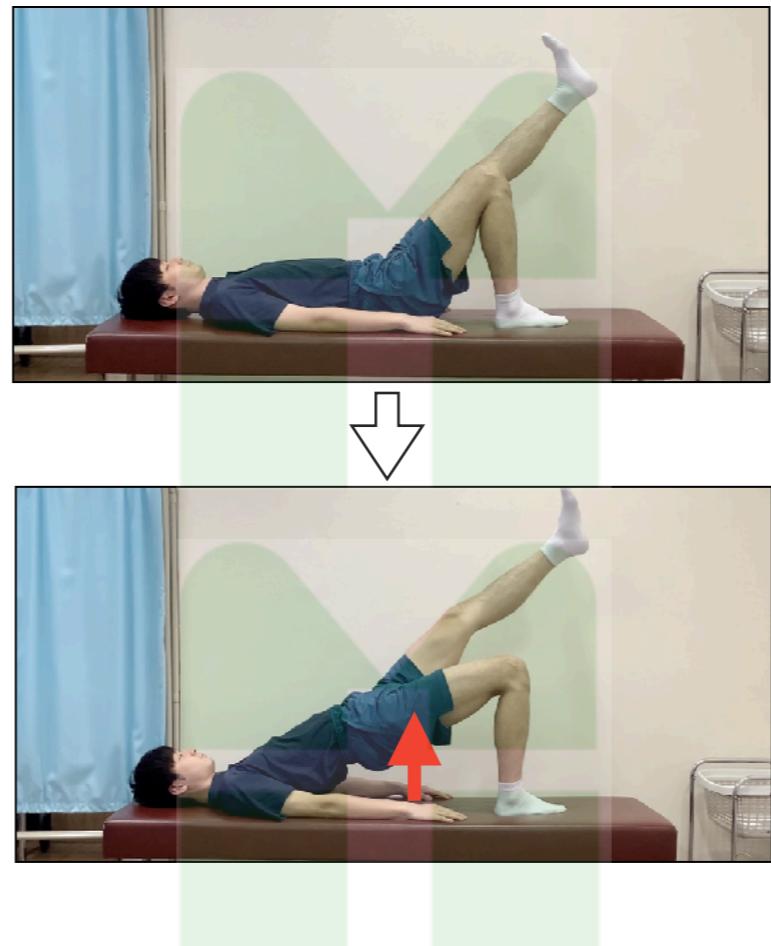
・Knee extension



- ・やりかた
 - 椅子に腰掛け、ゆっくり片膝を伸ばす
 - ゆっくり戻す
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

△注意点：セラバンドはスタッフが固定します

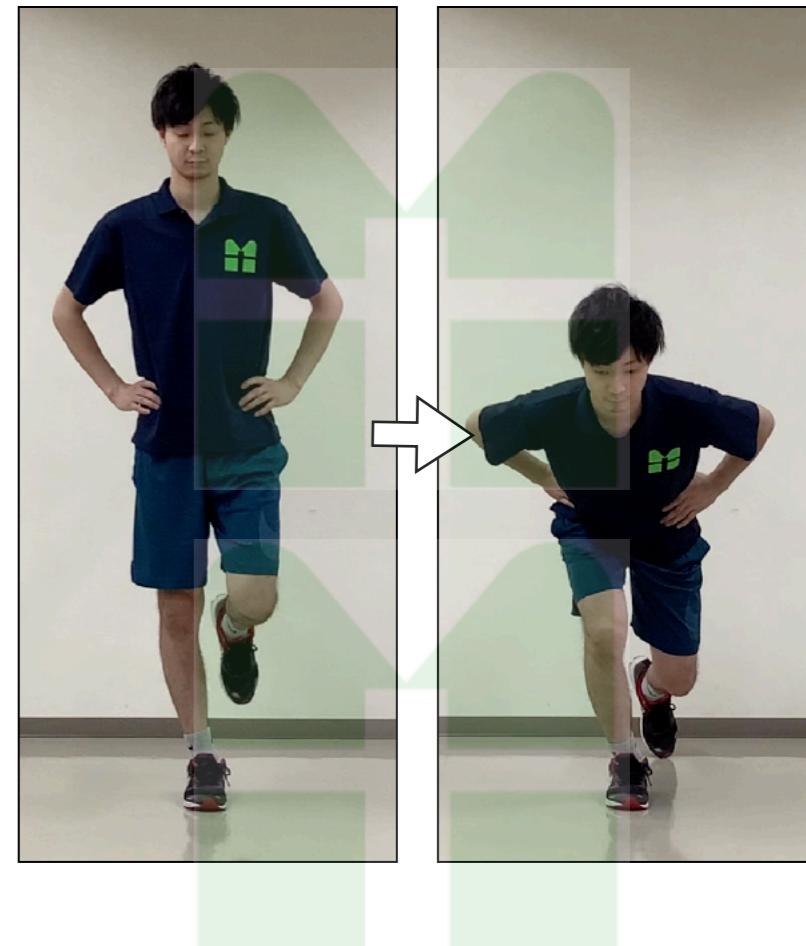
・片脚ブリッジ



- ・やりかた
 - 仰向けになって片膝を立て、もう片方はまっすぐに伸ばす
 - お尻とまっすぐにした脚を上に持ち上げる
- ・回数・時間
 - 10回×3セット

△注意点：膝を内側に入れない

・片脚スクワット



- ・やりかた
 - 片脚で立つ
 - 上半身を軽く前傾し、膝を曲げて腰をおろす
- ・回数・時間
 - 10回×3セット



・リハビリ（術後4週～）

- ・エアロバイク



- ・やりかた
 - 負荷量は軽くから開始し、徐々に増やす
- ・回数・時間
 - 10分～30分

・リハビリ（術後3ヶ月～）

- ・Jog



- ・やりかた・時間
 - 15分～1時間程度（会話できるくらいのスピードで）

- ・スポーツ応用動作



- ・やりかた
 - 競技特性に応じて、徐々に進める

ACLトレーニング チェックポイント

前額面



矢状面



チェックポイント

- ✗ 体幹・骨盤の側屈と回旋
- ✗ Knee in toe out
- ✗ 過剰な外側荷重

チェックポイント

- ✗ 過剰な後方重心
- ✗ 過剰な膝の前方変位
- ✗ 骨盤後傾
- ✗ Ham/臀筋の収縮不全